

第292回 番組審議会

1. 日 時 令和2年 6月9日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F 「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 8名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

近藤 一英 (副委員長)

—以下50音順—

朝岡 正貴

石田 征広

佐々木 泰司

菅原 正二

平野 順子

八木橋 伸之

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

小原 忍 (取締役副社長)

高嶋 昇 (常務取締役)

一戸 俊行 (取締役報道制作局長)

君澤 温 (取締役総務局長)

上川 友記 (報道制作局報道部)

○ 事務局 大場 薫

4. 議題 FNSドキュメンタリー大賞（ノミネート作品）

「防災の架け橋～釜石の教訓をふるさと静岡へ～」

令和2年5月17日（日）14：00～14：55放送

5. 議事概要

今回は、FNSドキュメンタリー大賞（ノミネート作品）「防災の架け橋～釜石の教訓をふるさと静岡へ～」について審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ一戸報道局長からの説明

- ・新型コロナウイルスによる取材の規制、その対応の工夫、取材、撮影、編集まで制作者が一人で行った。
- ・緊急事態宣言もあり、学校も再開しない中、ラストシーンは写真とインタビューという形になった

。

●出席した委員からの意見

- ・人に焦点を当てていたためか、心の温かさを感じる良質な番組だった。
- ・震災に関する事実だけではなく学びも組み込んだ構成が良かった。
- ・多くの教育施設でも見られるようにしたらよいのではないか。
- ・来年は震災から10年という節目、テレビ局としての様々な取り組みに期待したい。

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

- ・ほかの地域でも実践できるようマニュアル化したらどうかと中川さんに提案してみたところそれはその地域の人たちと釜石市と一緒に協力してやっていくことのほうが大切だから、マニュアル化しないほうがいいのではないかというふうなことをお話ししていたのが印象的だった。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置
特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び
年月日

※令和2年6月10日（水） 産経新聞 東北版

※令和2年6月20日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテ
レビ番審リポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲
覧できるようにした

9. その他の参考事項
特になし

※次回は、令和2年7月14日(火)12時より3階「星雲東の間」にて開催
予定です。